

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんどぴーす		
○保護者評価実施期間	令和8年2月12日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動内容の多様さと社会資源とのつながり	・スタッフ同士が信頼しあって働けるように、意見を言い合える関係性の構築を心がけている ・報告と共に、自らの考えで動くことの大切さを伝え、その姿勢を認める声掛けをしている	・将来の就労を視野に入れ、就労体験、見学を取り入れたい
2	・スタッフの連携力、行動力、支援力	・スタッフ同士が信頼しあって働けるように、意見を言い合える関係性の構築を心がけている ・報告と共に、自らの考えで動くことの大切さを伝え、その姿勢を認める声掛けをしている。 ・スタッフの支援力、スキル向上のため、研修や学んだ内容の共有に努めている	・支援力向上、スタッフの定着率向上のため、積極的な有給取得、育休産休制度の整えなどを充実させたい
3	・保護者様の協力姿勢・保護者会参加率の高さ	・保護者様へ連絡をアプリを利用してこまめに行っている ・ファミリー会、日々の送迎時における会話を大切にしている	・保護者様同士の結びつきができるよう、親子レクや夏祭りなど取り入れたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎範囲の狭さ	・夕方以降に送迎車を運転できる心持ち、技術、時間のあるスタッフが不足している	・スタッフ採用の際、送迎必須で募集し、添乗し丁寧に送迎のノウハウを指導する
2	・個室がない	・外から見守ることができる個室を作るにはスペースが足りない	・相談室内にカムダウン TENT を設置するなど、完全個室でなくとも落ち着ける環境をつくる
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あんどびーす

公表日 令和8年3月30日

利用児童数 12

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1			・十分広いと思う・学習と遊びが別室になると良い・近くの公園等を有効活用されており充分	スペースの都合により学習を完全別室にすることが難しいです。時間をわける、机の向きを工夫する、衝立を活用いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			2	・なかなかスタッフの人数と顔、名前が一致しないので写真一覧があるとよい	スタッフ一人一人を覚えようとしてくださりありがとうございます。覚えていただける方法を検討いたします。ネームプレートの着用、送迎時のご挨拶の際に毎回名乗るようにいたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1				こどもたちにわかりやすい環境となるよう、整頓、表示を心がけております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12				・建物や設備がきれいで清潔感が感じられる	ありがとうございます。清潔な環境で過ごしていただけるよう、毎日の掃除手順をルーティーン化しております。今後もスタッフの衛生意識を高める研修、声掛けをまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1			・学校へ行かなかった日に、放課後からの子が来るまでの時間利用している。そのため時間が短く、他児が少ないため深い関わりや支援を受ける機会が少ない	授業時間帯のご利用に関し、お子様同士の関わりを持つ機会をご提供できず、私どもにもっとできることはないかと模索の日々です。ご利用時間や形態の変更など保護者様、相談支援専門員様と一緒に考えさせていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12				・電話や口頭で様子を教えてもらい、それについて一緒に考えたり、保護者側の対応も参考にさせていただきてもありがたい	ありがとうございます。支援プログラムにも掲げた「相互理解」「ご本人とご家族を中心に据えた包括的支援」の考えに基づき、一方通行にならないことを心がけております。支援プログラムを更に認知していただけるよう周知に努めます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				・休日のおでかけ等魅力的な内容・家でできないことや思いつかない事を沢山やってくれてありがたい・本人が楽しそう・公遊びや調理体験等、様々な機会を提供してもらえありがたい	持ち物の準備、活動費など、保護者様のご理解とご協力があった活動も多く、スタッフ一同感謝いたしております。ありがとうございます。これからも学休日には、学休日ならではの活動をしてまいります。放課後の活動も同様に、積み重ねの大切さを重視し丁寧に取り組んでまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2			8	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12						
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9		2		1	・家族がなかなか時間が取れない状態であり申し訳ない	ありがとうございます。ご多用な保護者様へも効率帝にご説明できるような手順を考えております。決まりましたらご連絡させていただきます。
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11				1	・こんな時こういう声掛けや対応をするとういことを教えてもらいたい	ご要望ありがとうございます。3月28日に開催する保護者会にて設けさせていただきます。ご参加お待ちしております。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1		・子どもに変化がみえてきた。先生方のおかけ・電話やアプリでママの様子を伝えていただきありがたい・帰りに様子を少しでも聞けるし安心できる・連絡帳あるとうれしい	当事業所は連絡帳の代わりにアプリを利用し画像等を送らせていただいております。スタッフ全員が丁寧にお子様と向き合いたく、送迎時に口頭でのお伝えとなっております。ご要望を踏まえ、今後更に丁寧にお伝えできる構造を構築してまいりますので、お時間をください。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1			半年に一度の面談の他は、必要に応じてご相談となっております。開所一年目の今年度は2回保護者会を開催し、相談や助言支援の機会とさせていただきます。周知不足を反省し、皆様にご利用いただけるよう個別にお声掛けしてまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				・前向きな言葉をたくさんかけてくださり親子でうれしい	ありがとうございます。私ももうれしいです。前向きな姿勢、言葉を大切に、これからも同じ方向をむいて共に歩ませていただきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1		4	・会の案内をいただいても家族の参加が難しく申し訳ない・他の保護者の方と交流していきたい	不参加の方へのケアが薄かったと反省しております。ご都合がつかない時には後ほど内容をお伝えしてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			1	・アレルギー対応についてとても感謝している。休み期間の活動内容など配慮がとて有難く、本人も"みんなと一緒"を喜んでいる	いつも気になることを細やかにご相談、共有していただきありがとうございます。これからも、ご相談内容を迅速にスタッフと話し合い、支援の方法を考えてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				・家族のおかれている状況なども理解していただいているので安心している	SNSなど特に注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	1	2	・していると思うが、上の子は「したことがある」、下の子は「わからない」と言っている	弊社HPにて公開しておりますが、周知不足のようです。アナウンスしてまいります。訓練がお子様の中に印象づいていないことは私どもの今後の課題です。ご意見ありがとうございます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		4	・連絡の取り方、避難場所などを共有し、保護者からもこどもに伝えたい	訓練がお子様の中に印象づいていないことは私どもの今後の課題です。ご意見ありがとうございます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1		4	・念のためこどもにGPSを持たせているが災害時の対応を共有できると親子で安心できる	弊社HPにて公開しておりますが、周知不足のようです。アナウンスしてまいります。訓練がお子様の中に印象づいていないことは私どもの今後の課題です。ご意見ありがとうございます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		1	・少しの変化やいつもと違う様子も送迎時におしえていただけるのでとても安心している	ありがとうございます。今後も状況把握、迅速な連絡を心がけてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				・毎日安心して楽しそうに通っている	安心感は何から生まれるかをスタッフは考え支援してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			・あんどびーずに行ける日をとても楽しみにしている・特に土曜日等の普段と違う活動を楽しみにしている・近所の子と遊びたくて行き渋ることもあるが行くのが楽しかったと帰ってくる・行くのがとても楽しみ。安心して送り出せとても助かる	地域のコミュニティも大切にしながら、ご利用日の調整を図れたらと思います。いつでもご相談ください。楽しく通っていただけることが効果的な支援につながると考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1			・こどもに合った声掛けをしてくださりさすがだと思う・先生方の対応には非常に感謝している・現在、事業所都合で帰りは家族が迎えに行っているが自宅送りをしてもらえると助かる	送迎車の都合によりお迎えをお願いしておりました。ご協力くださりありがとうございました。令和8年度には南方方面のお送りも開始いたします。皆様のご協力と温かい見守りのおかげであんどびーずも開所1年を終えようとしています。ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あんどびーす		公表日		令和 8 年 3 月 30 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	規程面積よりも広めに設定している。事務所や相談室を可能な限りコンパクトにし、支援室の面積に充てている。また、細かく仕切らず、必要に応じてパーティションやパネルコーナー分けしている。	カームダウンスペースの完全個室化が難しい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	規程人数よりも多めに配置している。パートタイマーを採用し時間を絞って効果的に配置している。	送迎対応できるスタッフと車両の確保。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	物の配置、位置を固定し、片づけがしやすいようにしている。物をしまいやすいようにスペースに余裕をもつようにしている。	玄関やトイレなど段差があり、今後、肢体不自由児が利用する場合に改善の必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の掃除をルーティーン化しており、清潔を保っている。活動に合わせてパーティション等で仕切るようにしている。	学習と遊びが混在する時間帯に、エリアを完全に分けることが難しい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	カームダウンメントを設置している。個別の部屋はスタッフの目が届かないので、一人で別室へは行かないようにしている。体調不良時は相談室を利用して静養する。	完全に一人になることができ、なおかつスタッフからは見えるような部屋がない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	月に1回、全体会議を開催している。全スタッフが参加し、振り返りと次期目標を設定している。	全体会議日为非出勤のスタッフの参加の仕方。後からの情報共有の仕方。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	2月に評価表を配布、3月に集計、内容を整理し新年度に向け全体会議で共有している。	年度末は慌ただしく業務改善に丁寧に取り組むためには評価表を1月に配付した方がよい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	全体会議以外にも、朝ミーティング、帰りの事務作業時に積極的に話し、スタッフラインも活用し、意見を吸い上げるようにしている。	支援時間のみの勤務の場合、意見を言える機会が少なくなる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	外部評価を行っていない。	外部評価を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	スキルアップのための研修参加を推奨するとともに、事業所内においても研修、ケースワークを取り入れている。	スタッフを増やすことで移動を伴う外部研修へ参加しやすくしたい。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	HP上で公表し、保護者様に伝えている。	周知が甘い。認知度が高くない。契約時だけでなく年度初めにもアナウンスする。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	評価表を使用し、現状と課題の整理を行っている。現在の課題にとらわれず、その根底にある課題に気づけるよう、スタッフ間で日常的に話し合っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	支援会議の他、毎日のミーティングにて検討を行っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	毎日のミーティングにて検討、確認を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	共通のツールを使用し、電子化と紙ベースを使い分けている。すべてのスタッフが見られるようにしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	項目を明確に明記し、支援内容は具体的に設定することを心がけている。		

心切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	沢山の目で見て考えられるように、毎朝ミーティングを行い話し合う機会を多く確保している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	目標をお子さまが読んでも分かりやすい言葉で作っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	時間を決めて毎日スタッフ会議を行っている。	午前中に行っているが、議題が多すぎて時間がかかる。優先順位を決めて決められた時間内で行ない、余裕を持って支援開始時間を迎えられるようにする
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	スタッフのWLBを考慮し、送迎後は最小限の伝達のみとし、あえて振り返りは翌日にしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援中にも気づいた点をメモに取るなど記録を徹底している。	お子さまに緊張感を与えないようなメモの取り方を職員全員が心がけられるようにする。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に一度だけでなく、必要を感じた時は随時見直ししている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0	その日のお子さまの顔ぶれや状況により組み合わせを臨機応変に変更するなど工夫している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動において、選択肢を用意し自分で決めたと感じられる場面を意識的に多く作っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児発管の他、お子さまの様子をよく知っているものから事前に聞いておくようにしている	事前に様子を聞くだけでなく、最もふさわしい者が同席できるように調整したい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	管理者を中心に各機関と連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	保護者様を通してのみならず、電話や直接お会いして情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		就学前情報は相談支援専門員さんから入手している。今後、情報共有に務めたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7		対象者がいないため。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	お子さまの発達に関する助言や医療的な措置等アドバイスが必要な時は助言をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	地域のコミュニティーセンター、図書館を月に1回利用したり、公園に行くことで地域の子と遊んだり関わりを持てるようにしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		地域自立支援協議会等に、今後は参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	現場のスタッフが送迎し、お子さまの様子を保護者様に伝える機会を意識して作っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	保護者様向けの研修会や勉強会を開催している。	より多くの保護者様にご参加いただけるような時期、曜日、時間等の調整が課題。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	書面を渡すだけでなく、口頭での説明に重きを置いている。	分かりやすく簡潔にお伝えできるように、口頭説明と書類や図を使った説明の仕方を作り上げたい
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	モニタリング等で意思、利益優先考慮の観点から傾聴の上、提案、意向確認の手順を踏んでいる。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	モニタリングに時間を多く費やし、会話の中で次期個別支援計画の内容の大枠まで保護者様と一緒に決めるようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会、姿勢講座等ペアレントサポートの機会を設けている	より多くの保護者様にご参加いただけるような時期、曜日、時間等の調整が課題
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	ツールを使い、速やかに一斉周知ができるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月の利用予定や行事予定、連絡事項を発行している。連絡ツールで日々の様子を送っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	SNSに発信する際は、顔を隠し、活動内容は分かるが個人は特定できないように配慮している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	利用者様には分かりやすい言葉で伝え同じ内容をツールを使用して文字で残るようにし、保護者様にも発信している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		保護者様へはマニュアルの存在のみお伝えしているので中身の周知について今後検討していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	火事や地震等、具体的に想定し様々な場面に对应できるよう訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	アセスメント時、年度替わりの際に確認、フェイスシートや電子ツールに反映している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	医師に指示された内容をお母様から伺い、事業所にて対応可能なことは、保護者様と相談の上行っている。リスクが高い活動の時は、お母様と相談し利用時間や内容を変更している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画の作成、研修、訓練を年間計画に基づき行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		十分な周知の方法を検討したい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	電子上の保管をしており、検索で速やかに調べられるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修資料をいつでも見られるところに置き、速やかに検証できるようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	5		身体拘束が必要な事例に遭遇していない。話し合った結果を支援計画に反映させる。	